



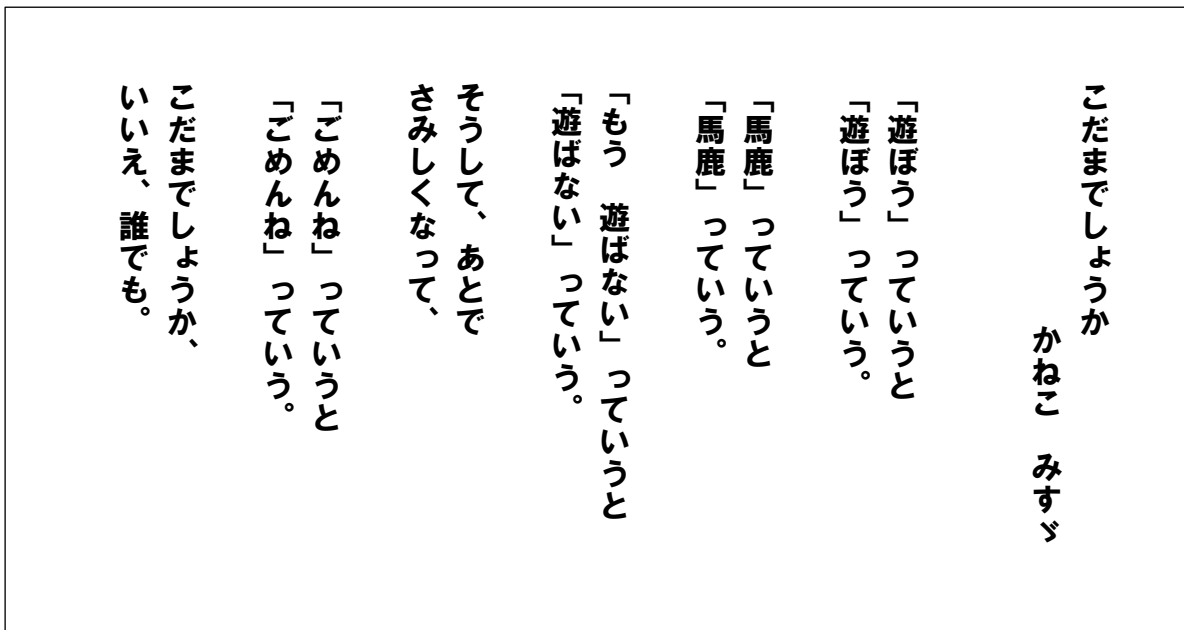
学校・家庭・地域をつなぐ

塩浜小 学校だより

令和4年1月12日

No.24

こだまでしょうか、いいえ、誰でも



1月11日の3学期始業式で、子どもたちに、金子 みすゞさんの詩を紹介しました。

読み聞かせの後、この詩の「 」の中に、「ありがとう」「がんばってね」「きもい」「うざい」「きれい」「あっち 行け」「いっしょに遊ぼう」と他の言葉を入れ、子どもたちにこだま役になってもらい、実際に声に出してみんなで言うてみました。これら7つの言葉の中には、「言われて嬉しい気持ちになる言葉や元気が出てくる言葉」もありますが、反対に、「言われると寂しくなる言葉や元気をなくしてしまう言葉」もあります。自分が話す言葉と同じ言葉が、相手から返ってくる。「こだま」のように・・・

自分が思いやりのある温かい言葉を友達にかけると、かけてもらった方もうれしい気持ちになって、同じように温かい言葉で「こだま」のように返してきてくれます。反対に、友だちに傷つけるような言葉を投げかけると、自分にも同じように傷つく言葉が「こだま」してきます。自分が、素直で優しい気持ちになれば、相手も素直になって、優しい言葉を返してくれます。

それは、誰でも同じです。

今年も、思いやりのある温かい言葉が、いつでも教室や廊下など学校じゅうで、「こだま」のように響き合う塩浜小学校にしていきたいと考えています。そのためにも、子どもたちだけではなく、私たち大人も言葉遣いに気をつけて、子どもたちのよいお手本になるように心がけたいものですね。

本年も、よろしくお願ひします。



引き続き 感染防止に努めましょう！

年末から、全国的に新型コロナウイルス感染者がものすごい勢いで増加しています。第6波に入ったと言われています。三重県内でもオミクロン株に感染された方がいます。オミクロン株は、今までのデルタ株よりもさらに感染力が強いです。これから、大寒にむけて寒さが厳しくなり、感染者が増えることが予想されます。

学校では、今まで行ってきた感染防止対策を再度見直し、今できる基本的な対策を確実に行うよう、全職員で気持ちを引き締めて取り組んでまいります。各ご家庭でも、感染防止対策および、規則正しい生活に心がけていただきますようお願いいたします。

(1) 感染源を絶つ・・・外からウイルスを持ち込まない！

◇発熱等の症状や心配な症状があれば、無理して登校せず体を休めてください。

※登校前に、お子さんの検温・健康観察を必ずお願いします。

◇登校して教室に入る前に、手指をアルコールで消毒します。



(2) 感染経路を絶つ・・・ウイルスを体に入れない！

◇飛沫感染を防ぐ…始業前に、マスク着用の確認をします。

(ランドセルの中に予備のマスクを入れておいてください。)

窓や扉を、授業中は最低2方向、休み時間は全開し換気を行います。

暖房時は、タオルハンガーに濡れたタオルをかけ、加湿します。

給食時は、手洗い後にアルコール消毒をし、2教室に分かれ(3年生以上)、前向きで黙って食べます。

◇接触感染を防ぐ…手洗いを確実にしっかりと行うよう指導します。

できるだけ目・鼻・口を触らないよう声掛けをします。

児童下校後、机・いす・電気のスイッチ・ドアノブ・水道の蛇口などを消毒します。

(3) 抵抗力を高める・・・ウイルスに負けない！

◇十分な睡眠…夜遅く、日付が変わるまでゲームをしているお子さんがいるようです。ご家庭で、「早寝・早起き・朝ごはん」ができるよう、ご協力をお願いします。

◇適度な運動…天気の良い日は、外で体を動かしましょう。

◇バランスの取れた食事…給食では、赤のなかま・黄色のなかま・緑のなかまの食べ物をバランスよく摂るように指導しています。

オミクロン変異ウイルスは・・・

オミクロン変異ウイルス(オミクロン株)は、人への感染力が強く、発症するまでの期間が短いため、とても速いスピードで感染が広がっています。また、肺まで達して深刻な肺炎を引き起こした今までのウイルスと異なり、上気道(鼻腔・副鼻腔・咽頭・喉頭)での炎症を引き起こしやすいとする研究結果が多く見られます。つまり、オミクロン株による炎症は、鼻やのどで起こりやすいということです。ですから、症状は風邪症状と似ていて、発熱(72%)・せき(58%)・だるさ(50%)・のどの痛み(44%)・頭痛(32%)などが中心で、呼吸困難や嗅覚・味覚障害はあまり見られないそうです。もし、お子さんにこのような症状が見られたり、「ただの風邪かな?」と思って登校を迷われたりしたときは、念のため医師の受診をしていただきますようお願いいたします。